



河野宮崎県知事を表敬する嵐谷日身連会長、矢野宮崎県身連会長、平川大会実行委員長

今年の大会は、5月25日(月)から26日(火)までの2日間、宮崎県宮崎市のシーガイアコンベンションセンターにおいて開催されます。宮崎県は「古事記」「日本書紀」などに多くの地名が登場することから、「神話のふるさと」として知られています。昨年の開催地であった島根県も、やはり日本神話と縁の深い場所であり、昨年について神話の源泉を訪ねる素晴らしい大会となるよう、大会実行委員会を中心に鋭意準備を進めているところです。

会場となるシーガイアは、宮崎空港から車で約25分、JR宮崎駅から約15分、日南海岸に面し、敷地内には2つのゴルフコースと3つのホテルを抱える広大なリゾート施設で、2000年に開催された九州・沖縄サミットでは外相会合の舞台にもなりました。

2月10日、嵐谷安雄日身連会長は、今年5月の第60回日本身体障害者福祉大会の開催地である宮崎県を訪れ、矢野光孝宮崎県身体障害者団体連合会会長と、平川洋大会実行委員会会長(県身連副会長)とともに、河野俊嗣宮崎県知事を表敬訪問しました。

**河野宮崎県知事を表敬訪問**  
第60回みやざき大会を成功させよう!



発行所  
社会福祉法人  
日本身体障害者団体連合会  
(中央障害者社会参加推進センター)  
発行人 嵐谷 安雄  
東京都豊島区目白3丁目4の3  
テアダックビル4階  
TEL03-3565-3399(代)  
FAX03-3565-3349  
http://www.nissinren.or.jp

Japanese Federation of  
Organizations of the  
Disabled Persons (JFOD)  
年間購読料 正会員1部 300円  
非会員1部 1000円

今回の議題は、①障害福祉サービス等報酬改定検討チームにおける検討状況と、②障害者総合支援法施行後3年後の見直しに向けた議論が始まりました。

議①では、ヒアリングを含め、これまで12回開催してきた検討チームでの検討状況について説明があり、それに対し、部会からは人材確保や質の問題、加算等についての意見が出されました。そして、それら意見等を踏まえて、引き続き、同チームで議論していくことが確認されました。議題②では、附則第3条検討事項を中心とする現在の施策状況や近年の動向について説明があり、さらに、これら検討事項が障害者

11月25日、第59回社会保障審議会(社保審)障害者部会が厚生労働省内会議室(東京都千代田区)において開催され、障害者総合支援法施行3年後の見直しに向けた議論が始まりました。

## 総合支援法見直しにむけWGが発足 第59回社会保障審議会障害者部会

部会の重要なテーマであることから論点整理をするためのWG(ワーキンググループ)を設置する考えであることが報告されました。WGは、障害保健福祉部長が開催し、検討に向けた論点整理をする場として有識者で構成、必要に応じ作業チームを置き、障害者団体等と意見交換を行うとされました。このことに対し、部会からは「WGに当事者がいないのは問題」、「論点を絞り込むことにならないか」など危惧する意見が相次ぎました。それらの意見を受け、藤井康弘障害保健福祉部長からは、「WGは骨格提言を踏まえ論点整理をするのであり、論点を幅広く拾い出していく作業をするためのもので方向付けするものではない。部会では、それらの論点を本格的に議論いただくので、骨格提言の議論の継続性は担保できるもの」と説明がされました。そして、駒村康平部会長から「3年後見直しの議論の責任はこの部会で行うもの」とし、議論をまとめました。(2面につづく)

した。また、1日目と2日目のプログラムが同じ会場で開催されるという利便性も、今大会の特徴です。

矢野身連会長、平川実行委員会会長とともに宮崎県庁を訪れた嵐谷日身連会長は、「全国から3000人あまりの会員が一堂に会するまとまりある機会。ぜひ県として協力を」と述べました。これに対し河野知事は「宮崎県では初の開催であり、大会の開催についてはできるだけ協力していきたい」と、歓迎の意を述べられました。

なお、大会の詳しい内容は2面に掲載されています。



大会会場となるシーガイア  
コンベンションセンター(建物左側)